

# ターザイン™ プロDF



## 土壌処理+茎葉処理=効果<sup>2</sup>

- 広範囲な広葉雑草に優れた効果を示します
- 低薬量から対応でき残効性も長くお得です
- 土壌処理効果と茎葉処理効果でしっかりと防除します



- 有効成分/イソキサベン…60.0%、フロラスラム…4.0%
- その他の成分/鉱物質微粉、界面活性剤等…36.0%
- 性状/類白色水和性細粒
- 毒性/普通物
- 包装/100g×20袋

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤及びイソキサベン及びフロラスラムを含む農薬の総使用回数	使用方法
			薬量(g)	散布液量(ℓ)		
日本芝 西洋芝(ブルーグラス)	一年生及び 多年生広葉雑草	芝生育期 (雑草発生初期)	30~50	150~200	2回以内	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布

## 2成分の機能で、より優れたパフォーマンスを発揮。

イソキサベンは、雑草種子を発芽時に枯死させ土壌処理剤として優れた残効性を示します。また、フロラスラムは茎葉処理により生育初期の雑草が防除できます。この組み合わせでさらに広葉雑草の体系防除が立てやすくなりました。

### 2成分の機能(模式図)

### 広い散布適期と残効性の理由

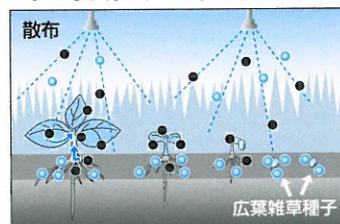
フロラスラムが茎葉・根部から体内に移行。茎頂部や腋芽の生長点に蓄積される。

イソキサベンによる処理層ができる。

フロラスラムにより生長点のアミノ酸合成が阻害される。枯死まで秋期4~6週間、春期で2~3週間を要する。

発芽時にイソキサベンによって胚軸および根の細胞分裂を阻害。約120~150日の残効性がある。

### ●フロラスラム ●イソキサベン



### 殺草スペクトラム

除草効果(残草率%) ●:極大(0%) ◎:極大(1~5%) ○:大(6~10%)  
□:中(11~30%) △:小(31~50%) -:試験例なし

雑草科名	雑草名	土壌処理効果			茎葉処理効果		
		薬量(g/m <sup>2</sup> )			薬量(g/m <sup>2</sup> )		
		0.03	0.04	0.05	0.03	0.04	0.05
キク科	ヒメジョオン	●	●	●	◎	◎	◎
	ハルジオン	●	●	●	◎	◎	◎
	オオアレチノギク	●	●	●	◎	◎	◎
	ヒメカシヨモギ	●	●	●	◎	◎	◎
	ブタクサ	-	-	-	●	●	●
	ノボロギク	●	●	●	◎	◎	◎
	オニタビラコ	□	□	●	◎	◎	◎
	アキノノゲシ	-	-	-	◎	◎	◎
	ノゲシ	-	-	-	◎	◎	◎
	マメカミツレ	●	●	●	◎	◎	◎
	ハハコグサ	△	○	◎	△	◎	◎
ウラジロチチコグサ	●	●	●	○	◎	◎	
タンポポ	●	●	●	○	○	◎	
ブタナ	●	●	●	△	◎	◎	
ヨモギ	○	○	●	◎	◎	◎	
マメ科	ヤハズソウ	◎	●	●	◎	◎	◎
	カラスノエンドウ	●	●	●	□	□	○
	ウマゴヤシ	-	-	-	□	◎	◎
	クローバ	●	●	●	□	◎	◎
ナデシコ科	ハコベ	●	●	●	●	●	●
	オランダミミナグサ	●	●	●	●	●	●
	ノミノフスマ	●	●	●	●	●	●
ツメクサ	●	●	●	●	●	●	
アブラナ科	ナズナ	●	●	●	◎	◎	◎
	タネツケバナ	●	●	●	◎	◎	◎
アカネ科	ヤエムグラ	●	●	●	◎	◎	◎
カタバミ科	カタバミ	●	●	●	△	□	□
	タデ科	イヌタデ	○	○	◎	○	◎
シソ科	ホトケノザ	●	●	●	△	○	○
	ヒメオドリコソウ	-	-	-	△	○	○
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	●	●	●	△	○	○
	イヌノフグリ	●	●	●	△	○	○
	タチイヌノフグリ	●	●	●	△	○	○
	トキワハゼ	●	●	●	△	△	△
オオバコ科	オオバコ	○	○	●	△	△	
トウダイグサ科	コニシキソウ	●	●	●	△	△	
セリ科	チドメグサ	●	●	●	△	△	

### 使用上のポイント

- ★展着剤を加用してください。
- ★薬液調製後はできるだけすみやかに散布してください。
- ★雑草発生初期(本葉3葉期まで)に使用してください。(生育の進んだ雑草には効果が劣ります)
- ★秋期(9月~12月)の雑草発生前~発生初期の推奨薬量は0.04g/m<sup>2</sup>です。
- ★春期(3月~4月)の雑草発生前~発生初期の推奨薬量は0.04~0.05g/m<sup>2</sup>です。(キク科、ナデシコ科、マメ科雑草に安定した効果が期待できます)
- ★遅効的なため、雑草が完全に枯れるまで春夏期で2~3週間、秋冬期で4~6週間かかります。(まき直しはしないでください)
- ★本剤は少量でも強い除草効果があるため、薬剤散布後には散布器具やホース内に薬液が残らないように十分に洗浄してください。



※イネ科雑草および、ヒメクグ、ハマズメには効果が期待できません。  
※周辺の草花、樹木などに薬剤がかからないように注意してください。

- ★使用前にはラベルをよく読んでください
- ★ラベルの記載以外には使用しないでください
- ★本剤は小児の手の届く所には置かないでください
- ★空袋は施設内外に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください
- ★防除日誌を記帳しましょう

本資料は、2007年10月現在の知見を基に作成されています。

製造・販売 **ダウ・ケミカル日本株式会社**  
ダウ・アグロサイエンス事業部門

本社/東京都品川区東品川2丁目2番24号 天王洲セントラルタワー  
〒140-8617 URL <http://www.dowagro.com/jp>  
支店/東京・名古屋・大阪・福岡

取扱